

## 私の教育観を育てた『本』との出会い

竹田 千佐子（健康科学部 看護学科長）

読書とは言葉探しだとよく言われますが、皆さんは、『言葉で表現したいけど、なかなか表現できなくて、行き詰ってしまった・・・』という体験をしたことはありませんか？ 私も教員生活10年を過ぎたころ、「学ぶ」「教える」とは何か・・・なかなか言葉で表現できず悩んだ経験があります。私に、このことを解明してくれたのは、「西沢潤一（1996）；教育の目的再考」で引用されていた教育哲学者William Arthur Wardの『凡庸な教師はただしゃべる。良い教師は説明する。すぐれた教師は自らやってみせる。そして偉大な教師は内なる心に火をつける。』という言葉です。読書をとおり、偉人・有名人の名言に触れることは、自分の頭の中でもやもやしたものを、すっきりさせることができ、自分自身の「語彙力をアップ」することを可能にしてくれます。

今も、私の本棚には、古ぼけた本が一冊存在します。それはHelen Yura, Mary B. Walshの「The Nursing Process」の訳本「看護過程＝ナーシング・プロセス」です。もし、この本に出会っていなかったら、私は、看護教育職にはなっていなかったでしょう。総合病院で看護師として働いた後、恩師の勧めにより教育の場に身を置きましたが、何をしていいかわからず、看護教育の本質もわからず、虚しく右往左往する日々を過ごしておりました。そんな時に出会ったのがこの本です。

看護過程の理論的枠組として、情報理論やコミュニケーション理論、決定理論と問題解決理論が述べられ、この看護過程の概念こそが看護実践の文字化であろうと確信し、私の教育者としての拠り所となりました。この本は、私に教員としての「強み＝自信」を与え、それまでの教員生活を一変させました。学生が看護実践の過程を学ぶ方法として、ロールプレイを計画し、教員が患者役を演じるためのシナリオ作りなど積極的な教材づくり、そして臨床場面での看護実践指導と教育者としての面白さを開花させてくれました。

“一冊の本には、人生を変えてしまう力がある”と言われますが、まさに私の人生を変えた本との出会いでした。

本学図書館には、約23万冊の書籍と420タイトルの雑誌が配架されています。この中に皆さんに「強み」を与え、人生を方向付ける本が存在するかもしれません。

「語彙力アップ」「豊富な想像力」「視野を広げる」「専門的知識の獲得」「コミュニケーションのスキルアップ」、そして、読書の最大のメリットは人生の追体験でしょう。これまで出会ったことのない“病を持つ人”を理解する手がかりとして、『闘病記』などを読んで、主人公に自らを投影し疑似的な体験することは、身近に寄り添い、行き届く看護の実践を導いてくれるのではないのでしょうか。

## ◎ 目 次 ◎

巻頭言	p. 1
学習支援システム リニューアルのおしらせ	p. 2
絵本おはなし会へようこそ	p. 3
令和元年度 学術情報センター利用状況の報告	p. 4

# 学習支援システム リニューアルのお知らせ

## 学修e-ポートフォリオ 全学部で始まります！

学修e-ポートフォリオとは、学習履歴や成果などを記録し、皆さんの学びを支援するシステムです。これまで家政学部、健康科学部で活用されていた学修e-ポートフォリオが、令和2年度より全学部で始まります。学修e-ポートフォリオ対象の科目を履修登録した場合、学修e-ポートフォリオのコースにも登録が必要です。履修登録期間に「CaLabo」にログインして、下記の手順で登録を行います。

※操作方法の詳細については、学術情報センターWebサイトのマニュアル「[学生用学修e-ポートフォリオ等のコース登録マニュアル](#)」を参照してください。

★マニュアルはこちら→



### 学修e-ポートフォリオ 登録の手順

学術情報センターWebサイトより、画面右上の「CaLabo」バナーをクリックして登録を行います。  
<https://lsic.nagoya-wu.ac.jp/>



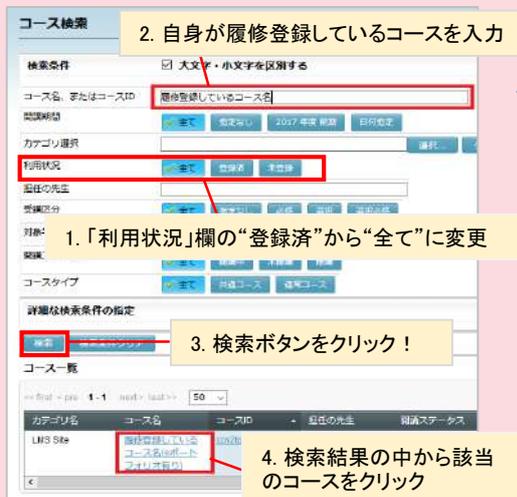
① 「CaLabo」にログインします。  
\*IDとパスワードはパソコンにログインするときと同じです



② 「My コース」タブをクリックします。



③ 履修登録したコースを検索し、該当のコースを選択します。



④ 「登録」ボタンをクリックします。



登録完了！

③-2から④を自身が履修登録した科目の学修e-ポートフォリオのコースすべてに繰り返し実施します。

## 印刷管理システム リニューアルしました！

学内のパソコン印刷管理システムが新しくなりました。パソコンで「印刷」ボタンをクリックした後、以下の手順でプリンタの操作をします。

- ① プリンタ上部にあるタッチパネルから、印刷指示をします。画面にタッチし、ユーザー名（パソコンにログインするときと同じです）を入力し「ログイン」ボタンを押します。
- ② 印刷したいジョブを選択して画面右下の「開始」ボタンを押します。
- ③ 印刷確認画面で「はい」を押すと出力されます。



### ヒント

印刷管理システムはポイント制です。毎年500ポイントが与えられます。両面印刷・白黒印刷を使ったり、2枚を1枚に集約して印刷して上手にポイントを節約しましょう！

※ポイントがなくなったら図書館カウンターで追加を申し出てください。

# 絵本おはなし会へようこそ

名古屋女子大学では、大学図書館主催の地域貢献活動として、「[絵本おはなし会](#)」を月に1回開催しています。全学より意欲的な学生が集まり、子どもたちに直に接する機会として、また地域ボランティアの経験として参加し、学生主体で運営しています。活動に積極的に参加して経験を積み、将来の夢に向かって羽ばたいていった学生も多くいます。そんな参加学生代表の声をお届けします。



## 「名古屋女子大学絵本おはなし会ボランティアで得たもの」

文学部 児童教育学科 幼児保育学専攻（令和元年度卒業生） 澤田 舞香

私は名古屋女子大学絵本おはなし会ボランティアの活動に2年生の頃から参加し、絵本を通じた子どもとのかかわりの中で、さまざまなことを経験し学んできました。

おはなし会のプログラムは、季節や行事に沿ったテーマから、どの絵本や手遊びがふさわしいか考え、学生主体で作成していきます。その中で、良い題材を選び取る力や、ボランティアのメンバーと協力して企画・運営をすることで、協働性を身につけることができました。また回を重ねるにつれて、自分がリーダーを務め、メンバーや職員の方に連絡をしたり、ミーティングを進行したりすることもありました。こうしたプロセスの中で、自分の役割をきちんと果たす責任感の大切さも改めて感じました。これらの成長は、社会人になった時に活かせると思います。

このように準備や練習を行っただけでおはなし会を開催することで、読み聞かせの技術も向上し、絵本のレパートリーも格段に増えました。特に一对一の個別読みでは、子どもの興味関心に沿った絵本を選んで読み、親子一緒に喜んでいただけたことで、一方的に読むのではなく、相手がいて読み聞かせが成り立っているという、当然だけれど大切なことに気づきました。

会の終了後には学生同士で振り返りを行い、「これは上手にできた」、「もっとこうしたい」といった気づきを毎回得ることができました。保育実習の際に、表現力や活動を考える力を認めていただけたのも、これらの経験を積んだことや、講師の方からご指導を受けたことが大きな糧となっていると感じています。

こうした絵本おはなし会の活動で培った知識や実践力は、保育士の公務員採用試験合格にも結実しました。紙芝居を制作し、手遊びとともに発表する課題があった時に、色々なおはなしや歌に親しんできたので、すぐにアイデアが思い浮かび、自信を持って発表することができました。



おはなし会は、現場に出る前の練習の場でもあるので、失敗を恐れず、積極的にしたいことに挑戦してみるべきです。私自身もこうした学びの機会や、人のご縁を得られたことに感謝しています。これからも多くの学生が参加してくれると嬉しいです。



Welcome!

令和2年度も絵本おはなし会を開催予定です！興味のある方は、ぜひ参加してください。今後の予定は、[学術情報センターWebサイト](#)でお知らせします。

TOPIC

瑞穂図書館 × 絵本おはなし会 開館50周年記念イベントを開催しました

絵本おはなし会の「番外編」として、2019年11月9日（土）瑞穂図書館開館50周年を記念した共同イベント「おはなしとおりがみクラフトきょうしつ」を開催しました。当日は36名のたくさんの親子に参加いただき、大盛況となりました。

イベントのテーマは「どうぶつえん」。会の前半は絵本の読み聞かせや手遊びを、後半は子ども達と動物おりがみを制作しました。折り紙が大好きな子ども達の活気あふれる姿や、完成した作品を手にした笑顔に、学生一同達成感でいっぱいの日でした。



# 令和元年度 学術情報センター利用状況の報告

## 令和元年度 利用者アンケート結果報告

学術情報センターの施設に対する声を今後の運営に活かすため、以下の通り学生対象アンケートを実施しました。前年度を大きく上回る多数の回答をいただき、ありがとうございました。

### 利用者アンケート実施要綱

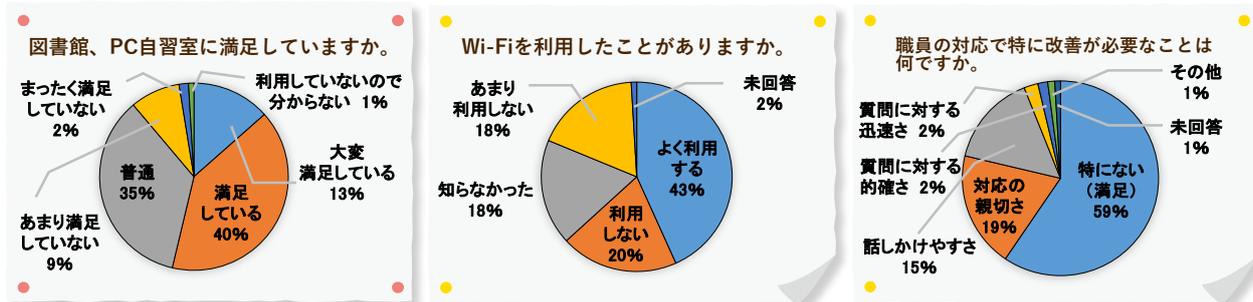
- ・実施期間：令和元年11月18日（月）～12月6日（金）
- ・実施方法：学内PCでのオンラインアンケート
- ・回答数：432名



★アンケート結果詳細はこちら↓



### 回答（抜粋）



施設および職員の対応について、大変満足/満足の回答が昨年度同様半数以上を占めており、満足度は昨年度とほぼ同様でした。

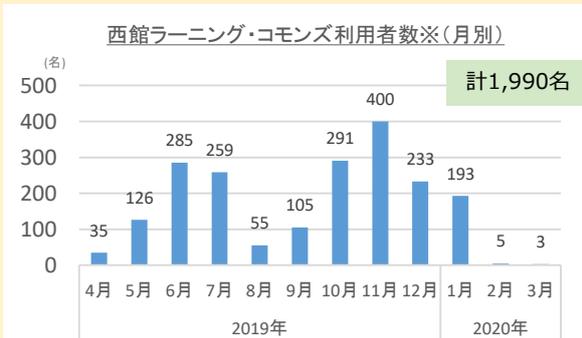
また令和元年度より、学術情報センター施設の3か所（図書館棟1階ラーニング・commons、国家試験学習室2、西館ラーニング・commons）ではWi-Fiが利用できるようになりました。Wi-Fiを「よく利用する」との回答が4割以上となり、自由記述でも「便利」との声が多く上がりました。令和2年度からは学修e-ポートフォリオが全学的に開始されることで、より利用が活性化することが期待されます。

また自由記述では、「飲食がしたい」「私語が気になる」との意見がありました。例年飲食スペース設置の要望は多いため、皆さんの意見を受けて「ラーニング・commons」ではフタ付きの飲み物のみ持ち込み可能です。図書館やPC自習室では、資料や機器の汚損・破損につながるため飲食はできませんので、学習スタイルに合わせて上手に施設を使い分けてください。

公共の空間として、皆さんにとって快適な施設をはぐくんできましょう。今後もご協力をお願いします。

## 令和元年度 学術情報センター利用状況について

学術情報センター 施設の令和元年度の利用統計を報告します。



※利用者数は職員巡回時(平日13～16時)の目視計測を集計

図書館では利用者・利用冊数ともに7月期に利用が最多となりました。令和元年度より新設した西館ラーニング・commonsは徐々に認知度が高まり、授業開講期を通じて活発に利用されていました。



名古屋女子大学 学術情報センターだより 74号

発行日：令和2年5月20日 発行：名古屋女子大学学術情報センター  
学術情報センターWebサイト <https://lsic.nagoya-wu.ac.jp/>

〒467-8610 名古屋市瑞穂区汐路町3-40  
TEL：図書館(052)852-9768 システムサービス(052)852-1120